

第44回岡山県がん診療連携協議会議事要旨

1 日時 令和2年8月3日（月） 18:05～19:05

2 形態 web会議

3 出席者 50名

4 あいさつ

○開会の挨拶があった。

5 報告事項

(1) 岡山県

○県の新型コロナウイルス感染症対策本部会議で決定した内容「岡山県における新型コロナウイルス感染症対策に係る県民の皆様への協力のお願い」及び「新型コロナウイルスの感染症の拡大防止に向けた県主催イベントの開催に係る考え方」について報告があった。会議での決定事項は県のホームページ上で公開している。

・緩和ケア研修会の開催については、各施設の責任で開催をお願いしたい。県が岡山県医師会に委託して行う緩和ケア研修会について、今後のコロナウイルスの感染拡大の状況によっては中止の可能性はあるが、現時点では開催予定である。厚生労働省としては、緩和ケア研修会の開催基準について発出するつもりはなく、また一律に中止するつもりもないとのことであった。

(2) 事務局・岡山大学病院

○令和2年度 各拠点病院から情報提供があった研修会・講演会について報告があり、今後も研修会・講演会の情報があれば事務局へ情報提供いただきたいとの依頼があった。

○岡山県がん診療連携協議会HP閲覧統計（R2年度）について報告があった。

・閲覧数については、例年同様「セミナー・講習会（医療関係）」が最も多く、「患者会・がんサロン」「がん拠点病院とは」と続く。

・昨年度同様、訪問者は9割以上が初回であり、地域別でも岡山県内の方が8割以上アクセスしている。

(3) 作業部会 等

① 地域連携パス部会

○令和2年度岡山県統一版がん診療連携パスの算定実績(R2.4～R2.6集計分)について報告があった。

・昨年度と比較しても大差なく、ほぼ同様の傾向がみられる。

・岡山大学病院より、今年度パスのバージョンアップの計画はあるかと質問があった。

→今のところ予定していないが、5大がんについてさまざまな治療法が出てくる中で、ニーズが変わってきているところもあるので、ご意見があればぜひお寄せいただきたい。ニーズが大きいところを刷新するなど、パスの形を協議会に提案していきたいと思っている。

② がん相談支援部会

○5月11日に開催された第42回がん相談支援実務者会議について報告があった。

・今年度も、9月がん征圧月間に、各施設でパネル展示することを計画している。また、昨年度実施した図書館で今年も連携展示していくことも計画している。地域のお祭りについては、今年度は中止、縮小されるところが多いが、開催される場所に参加してリーフレット・パネル等でPRしていきたい。

・岡大主催で、中国地区地域フォーラム「がん相談員のためのゲノム医療研修会」を8月22日に開催予定である。コロナウイルスの影響を考慮し、Web配信で開催すると決定した。

・コロナウイルスの不安により医療機関を受診することを控える患者の相談も受けていくことが話し合わせ、各施設で相談窓口を設けることとした。自施設のホームページへの掲載、電話相談を受け付けていくこととしたが、今のところ当院では、コロナウイルス関連の相談事例はない。

- ・岡山県より、岡山県のホームページ上でも新型コロナウイルス感染症についてまとめており、「がん患者とご家族の皆様へ」というサイトを開設していることが紹介された。相談窓口の紹介や関連ホームページを閲覧できるように広報している。
- ・岡山大学病院より、岡山県のホームページ掲載について感謝の言葉が述べられた。その上で、コロナウイルスのページからは読めるが、「岡山県がんサポート」のページからは見えないので、可能ならこちらからも読めるようにしていただきたいと提案があった。尚、岡山県がん連携協議会のホームページには未掲載なのでこれから急いで作りたい。

③ 緩和ケア部会

○以下報告があった。

- ・第23回緩和ケア実務者会議、第24回緩和ケア実務者会議を開催し、緩和ケア研修会の取り扱いを中心に情報提供した。現況報告におけるがん診療連携拠点病院等の指定要件について、コロナウイルスの影響で当初予定していた緩和ケア研修会が開催できなかった場合は、報告時に記載しておけば事情を考慮すると厚生労働省から通達が来ている。
- ・各施設で開催する緩和ケア研修会について問い合わせた結果、開催中止・延期等が報告されたり、開催しても参加者を自施設の医師に限定したりする場合があった。自施設で開催しない病院（拠点病院以外）の医師がいつまでも受講できないことになるので、コロナウイルスが収束したら何らかの対策を取る必要があるかと思う。
- ・岡山大学病院より、9月19日に当院で開催予定だが、大学の方針によって学外者を集めての研修ができないため、院内医師限定とすることが報告された。

④ がん看護部会

○6月15日に開催された第55回がん看護部会について報告があった。

- ・コロナウイルスの影響を考慮し、今年度のがん看護研修は各施設で企画・運営することとした。
- ・各施設での研修の実施計画について情報提供があった。

⑤ 研修教育部会

○3月9日に開催された第18回研修教育部会について報告があった。

- ・年1回研修会を開催しており、今年度は9～10月頃真庭市で開催することが決まっていた。しかしながら、コロナウイルスの影響で開催できなくなったため中止した。今後については来月開催の部会で方向性を話し合う予定である。
- ・岡山大学病院より、対面での研修会が開催できないなど、コロナウイルスの影響を最も受けていると思うが、今後オンライン形式等を考えていくかと質問があった。
- 他の研修会では、Zoomを利用して開催していたりするので、この会も研修内容を見直して、リモートでの研修も今後は考えていかななくてはならないと思う。

⑥ がん登録部会

○以下報告があった。

- ・3月19日に開催予定していたがん登録部会をコロナウイルスの影響で中止した。
- ・6月16日に国がん主催で第1回がん登録部会が開催され、Webで参加したが、通信状態が悪かったために内容の詳細が聞き取れず、報告できない。
- ・2017年症例の集計を岡山大学病院が岡山県がん診療連携協議会のホームページに掲載した。
- ・今後の予定としては、例年通り各種データの提出期限が迫ってきている。
- ・第1回がん登録部会にWeb参加したところ、2次利用の方法、公表の仕方、国がんが得た予後調査のデータをカルテに記載して良いのか等が話し合われていた。

⑦ がん薬剤師部会

○以下報告があった。

- ・7月30日に薬剤師部会を開催した。毎年研修会を行っており、6月に金川地区で研修会を開催

予定であったが、コロナウイルスの影響を考慮し、中止（延期）した。今後どうするのかについて話し合ったが、対面式でやるなら、ソーシャルディスタンスを保つために広い会場が必要になるだろうといった意見や、コロナウイルスが収まるまで Zoom 等を利用するのが良いのではないかという意見が出された。対面式の良さもあるので毎回アンケートを取っているが、研修会後の質問コーナーは人気があるので継続していきたい。結論は出ていないが、次の部会までに各自が考えることとし、当面はWebでやるのが良いのではないかという方向とした。

・今後について、研修会を継続する以外に、前回親会議で配布された資料を供覧しながらPDCAも考慮して、今後の活動を考えていかなければならない。

・岡山大学病院より、質問コーナーが好評であったことについて、何か工夫があるのかと質問があった。

→当日、会場で質問する人はあまりいないので、日々困っていることなど事前にアンケートを取っておき、当日は座談会のような形で気軽に話せる雰囲気を作ったのが良かったのだと思う。

⑧ 歯科部会

○3月3日に開催された第1回歯科部会について報告があった。

・以前から歯科の組織化を図るようにと指示があり、第1回歯科部会を開催した。発足メンバーに、がん診療における協議会の内容、歯科部門の必要性、設立についての説明を行った。それ以後は、コロナウイルスの影響を受けて活動ができていない。メンバーから、行政の方にも参加していただきたいと意見があり、その方向で検討することとした。歯科は実態がさまざま、院内に歯科医師がいる場合もあれば、外部から支援を受けている施設もあり、各々の施設での工夫が紹介された。情報共有の充実や研修会をやっていくことを組織の目標としたが、どのようにやっていくかがまだ混沌としており、当面web会議等を充実させてやっていく。

・岡山県歯科医師会より、病院歯科と地域の診療所との連携が全国の中で岡山県はやや遅れていると報告があった。岡山県には約1000の歯科医療機関があり、がん診療における人材育成を目的とした研修会を今後部会で開催していきたいと思っているのでご指導をお願いしたい。

・岡山大学病院より、コロナウイルスの影響で、がん患者の歯科受診が減ったとか、受診を控えたという事例はあったかと質問があった。

→岡山県歯科医師会より、多少は影響を受けていると思われるが、医科診療所に比べれば歯科は被害が少なく、今のところ約20%の減少にとどまっていると思われると回答があった。

(4) 地域がん診療連携拠点病院・診療病院・推進病院
特になし

(5) その他

・岡山大学病院より、岡山市民病院はコロナ患者を多数受け入れているが、がん診療における影響やその対策等、気を付けていることを共有してもらえれば紹介してほしいと意見があった。

→岡山市民病院より、がん診療に対して特別な対策を取っているわけではないが、ゲートコントロールをしっかりやって入口で発熱患者を見つけるなどして、化学療法患者に発熱患者が絶対に交わらないようにして、患者に不安を抱かせないように気を付けていると回答があった。

・金田病院より、今のところ当院では何もないが、県北は病院の規模的に体制が脆弱なためアウトブレイクが起こったらどうなるか気がかりであると意見があった。

・金田病院より、資料1の「接待を伴う飲食店」について、「接待」とか「接客」とかだと漠然としているので「接触を伴う」とか「密接を伴う」というようにクリアーに書いたらどうなのかと意見があった。

→岡山県より、国でも「接待を伴う」となっているので県でもその表現を使っていると回答があった。

6 協議事項

特になし

7 その他

・岡山大学病院より、患者会の方では、このコロナ流行下でがん治療や受診で困ったことやトラブル等の事例はないかと質問があった。

→岡山がん患者・家族会連絡協議会より、特に困ったことはなく、がん診療で滞ったという例は聞いていないと回答があった。病院側も医師もご尽力いただいているようである。女優の岡江久美子さん死去の際には若干動揺があったものの、抗がん剤患者も順調に治療を受けられているようである。がん患者としては、個人レベルで気を付けるしかないと思っている。

8 次回開催日

1 2月頃を予定、調整が付き次第連絡。